



あつぎ・森の里九条の会

2023年10月

～今を新たな戦前にさせない～

結成：2009年

代表：平川高人 電話：090-3338-7027 編集：事務局/今村考三 046-248-0632

例会

11月5日（日）

10：00～12：00

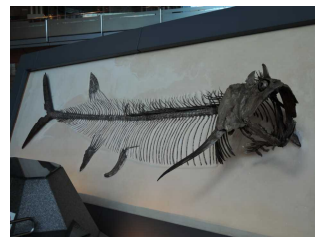
森の里公民館3F会議室

懇談会・ビデオ

9条改憲、原発、ウクライナ侵略戦争、物価高、地域の問題などについて話し合い、共感し合いませんか。

生命の星・地球博物館見学

参加者は8名でした。愛甲石田駅から電車で行く予定でしたが、車で行くことにしました。博物館到着後は、集合時間まで自由見学としたため、各自興味ある場所をじっくり見て回ることができました。



参加者の声

▼きのうは勉強になりました。あなたの企画であったか、分かりませんが、楽しみました。素直な感想です。30億年前の化石に生物としてはずっと後進のヒトが、じかに化石に触れたのは不思議な気持ちでした。栗生▼先日は大変お世話になりました。翌日、NHKの番組を見ました。地球北半球の4分の1が

永久凍土であり、それが北極圏に集中していること、しかし、その永久凍土が溶けて、直立していた大木が次々と倒され枯れていく。北極にすむ動物たちが絶滅していく。北極の海流の流れが変わり、氷を削って、今や氷の厚さは10分の1になっていくことは知っていました。地底から湧いてくるメタンが永久凍土を溶かしていることも知っていました。背筋が凍り付く思いになりました。

▼これまで菌類は興味がありませんでしたが、今は植木の仕事をしています。改めて興味がありました。平川

▼地球の成り立ちなどを知ることができましたが、奇跡の星であるのに地球温暖化による気候変動や自然災害など、この地球の危機を今更ながら知って不安になりました。人間の叡智でここまで説明して素晴らしいと思う反面、地球を破壊してきた愚かさ、憤りを感じます。やはり資本主義の世の中は、変えなければいけないですね。せめて戦争のない世の中にしたいたいです。

▼恐竜の展示を見て、映画「ジュラシックパーク」を思い出しました。テイラーノサウルスやナウマンゾウは複製ですが、精巧に作られていて迫力があります。隕石や各種化石など展示物の多くが本物で、数も多い。展示物

ざわざ上野の国立科学博物館に行かなくても十分楽しめました。会報用の写真がたくさん撮れたのもよかったです。今村



スタンディングと署名活動
9月17日（日）

人出が少なかつたのですが、「大軍拡・大増税反対！」の署名は11名の方に協力していただきました。3名の方は進んで署名してくださいました。ありがとうございます。

スタンディングと署名活動のお知らせ

日時：11月19日（日）10:00～11:00

場所：スーパー三和前

★どなたでもお気軽に参加大歓迎です。

★手作りの表示板の用意あります。

例)「キンダ政治を許さない！」

「9条壊すな！」

「NO WAR！」

「大軍拡・大増税反対！」



きょういくときょうよう

10年以上前、横浜にいた頃、年金組合の支部長さんから聞いた話です。

「人間、特に高齢者にはきょういくと きょうようが大事だということ」

つまり、「今日行くところ」と「今日用がある」ということなのです。高齢になると外へ出たり、人と付き合うことが少なくなり、人と付き合うことが少なくなると、今日行く所（目標）と今日用がある（目的）ことが大事になってくるのです。

しかし、最近少し疑問に思うことも出てきました。確かに目標と目的をもって行動することは大事で、大切なことです。が、それは人に迷惑をかけることが前提ではないでしょうか。あくまで、自分で計画できて（他者の計画に参加することも）、自分で行動できるということ。

高齢になるとなかなか身体が言うことを聞いてくれません。頭も瞬時に反応し行動することが難しくなります。どうしても手助けが必要です。家族がいれば家族の。いなければ有料でヘルパーさんとか公機関の。それゆえに遠慮して結局引きこもりがちになってしまう、という悪

循環に陥ってしまい、「今日行く」どころか、「今日用」も果たせなくなるのです。

それならどうしたらいいのか、とても悩ましいことです。私もまだ答えは出せません。恐らく数年後には、私も誰かの世話になるでしょう。そのとき、私がどういふ行動をするか、全く分かりません。娘に迷惑をかけたくない、という気持ちは強くあります。今までできていた、やっていたことができなくなる、ことの恐怖にも近い感情。

80年前、人は政府の命令で戦争にかり出されました。この頃の国民の大半は「お国のために死ぬのは当たり前」と思っていました。今日行く所は戦場、今日の用は人を殺すこと。自分の目標も、目的も、高齢者も若者も。今のウクライナやロシアも似たようなものだと思います。絶対にならぬようなことが起きてはなりません。

是非、皆で考えてみたいのです。そして私に答をください。

森の里五丁目 池田登代子

関東大震災から100年

今年には関東大震災から100年。新聞もテレビも震災を大きく扱っていました。9月4日放送のNHK、映像の世紀バタフライエフェクト「関東大震災

復興から太平洋戦争への18年間もその一つです。知らないことが多かったのも、繰り返す何度も見ました。内容を一部紹介します。

①奇跡的に焼失を免れた神田の2つの町。決死で消火した住民の美談は、戦争遂行に利用された。

②イギリスは食料や物資を日本に届けた。船に避難者を受け入れ、安全な場所に輸送した。

③アメリカの救援部隊は震災4日後に横浜に到着。医療テントを立て、被災者の救護に当たった。

④アメリカは中国進出を巡って日本と緊張関係にあったが、支援を即断。大々的に義援金が呼びかけられ、約1000万ドルが集まった。

⑤日本に支援を送った国は30カ国以上。現在の価値で1000億円以上の義援金や物資が送られた。

アフリカのモロッコで9月8日、マグニチュード6.8の地震が発生しました。この大地震でこれまでに死者は約3000人、負傷者は5500人以上にのぼるそうです。同じアフリカのリビアでも、9月10と12日の豪雨による洪水で、死者は約4000人、行方不明者が9000人以上も出ています。

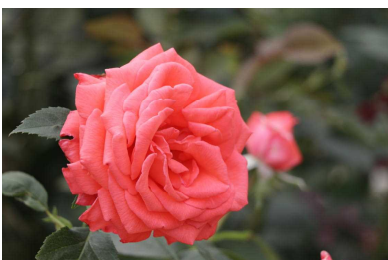
今年2月のトルコ・シリア地震では、スーパーや公民館など

様々な所に募金箱が置かれ、人々は進んで協力しました。しかしモロッコとリビア両国の災害では、これほどの犠牲者が出てくるにもかかわらず、支援の声がわづかしか聞こえてきません。3・11で世界中から助けてもらったことは、忘れたかのようです。

岸田自公政権は軍拡には熱心ですが、モロッコとリビアへの支援について語っているところを、私は見たことがありません。軍拡に巨額の資金をつぎ込んで破滅への道を進むよりも、大規模な災害・事故が発生したときには、ただちに支援を開始する。その方が世界から信頼を得られ、戦争を仕掛けられることもないと思うのですが、聞く力が自慢の岸田首相、どうですか。

KI

※事務局では皆さんからの一言を募集しています。身近なエピソードやつぶやき、森の里のトピックスなど、何でもよいのでお寄せ下さい。先にお配りした葉書もご利用ください。



バラ：ダブリン ペイ 花菜ガーデン(平塚市)